

令和4年度第3回安城市地域ケア推進会議及び安城市認知症初期集中支援チーム検討委員会

日時 令和4年7月21日（木）

午後1時30分～午後2時20分

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

コロナ感染が拡大しており、騒がしい状況になってきた。できるかぎり対面で開催できると良いと思うが、状況次第では、難しい状況になることもある。私が、勤務医だった頃の感染対策の基本は、まずは、自分が感染しないことが基本であった。それにより感染経路を遮断し、患者や入所者に感染をさせないことが大切であると思っている。

2 議題

(1) 認知症初期集中支援チーム検討委員会（資料1）

事務局)

認知症初期集中支援チーム検討委員会及び認知症ガイドブックの説明

(資料1-1に沿って説明)

認知症初期集中支援チーム)

初期集中支援チームの説明、初期集中支援チームの活動報告

(資料1-2に沿って説明)

【意見】

保健福祉部会)

地域包括支援センターは地域の高齢者の総合相談窓口である。認知症が出始めた親の相談が多い。ほとんどのケースで、認知症の高齢者自身が、物忘れがあるという認識がないので、家族だけが困っている。また、認知症の受診を勧めるのも困難で、介護保険サービスにつなげたくても主治医意見書が記入できないため、サービスにつなげることができず、困っている人が多い。そのようなときに、認知症初期集中支援チームに相談し、自宅に訪問してもらい、本人に対して受診のアプローチをしてもらい、受診につながったことも数回あった。地域包括支援センターが行う認知症サポーター養成講座や地域での認知症対応勉強会の講師としてお願いすることもあり、頼りになる存在になっている。

(2) ACP作業部会の報告（資料2）

ACP作業部会副部長)

6月に開催した作業部会の報告

(資料2に沿って説明)

ケアマネット部会)

6月のケアマネット定例会で、ACP作業部会の協力を得ながら、ACP実践のための視点やわたしノートの活用について説明を受けた。わたしノートの活用状況について、参加し

たケアマネジャーに聞いたところ、まだ始まって半年であるためなのか、活用したことがある割合は約30%であった。わたしノートを活用できなかった理由について、渡すタイミングが難しいことや、利用者や家族にどのように説明するか迷ったといった意見があった。今後も、わたしノートを活用できるように進めていきたい。

事務局)

今後も地域ケア推進会議の中で、各部会の取り組みについて、情報を共有しながら進めていきたい。市として11月にACPに関する地域包括ケアフォーラムを開催する予定である。今後も各部会とACPの実践について、取り組んでいきたいと考えているので、協力をお願いしたい。

【意見】

会長)

ACPに関して、少しでも多くの市民に伝えていただけるように、引き続きお願いしたい。

(3) 各部会紹介 (資料3)

グループホーム部会)

(資料3に沿って説明)

連絡事項

- ・在宅医療ガイドブックの見直しについて (資料4)

事務局)

(資料4の通り説明)

(提出期限：令和4年9月30日(金)まで)

- ・在宅医療・介護連携推進のための研修会 (グループホーム部会) (資料5)

日時 令和4年8月24日(水) 午後7時～午後8時30分

方法 オンライン (ZOOM)

講師 牧野 日和 氏 (愛知学院大学心身科学部 准教授)

内容 人生の最期まで食事を楽しむ為の支援方法を学ぶ

- ・多職種ワークショップ研修会

日時 令和4年9月17日(土) 午後2時～午後5時

場所 安城更生病院 南棟2階 第2講堂

講師 足立 康則 氏 (安城更生病院 緩和ケア内科 緩和医療センター長)

内容 緩和ケア病棟における意思決定支援と多職種連携について

事務局)

今後、各部会の研修会について、詳細が決定したら研修連絡票を提出していただき、準備を進めてほしい。

・自立支援サポート会議

日 時：令和4年7月28日（木）午後2時～ オンライン開催

詳細はサルビー見守りネットに掲載。

次回 令和4年9月15日（木）午後1時30分～3時00分 社会福祉会館 会議室

8月は予定通り休会。新型コロナウイルス感染拡大状況により予定を変更せざるを得ない場合は事前に連絡する。